



コスト パフォーマンスに優れた VDI ソリューションを迅速に 導入する方法

ホワイトペーパー | Parallels Remote Application Server

はじめに

COVID-19 のパンデミックでは、大規模な障害が発生した場合に備えて、適切なテクノロジーを用意しておくことの重要性が示されました。2020 年、多くの企業は、職場環境がオフィスから自宅へと突然変化した際、信頼できるソリューションを構築するために奔走しました。これにより、[Parallels® Remote Application Server \(RAS\)](#) などの仮想デスクトップインフラ (VDI) システムの需要が高まりました。

VDI ソリューションを導入する際、最大の障害となるのは複雑さとコストです。その結果、パンデミックが始まった時点で強固な[事業継続・災害復旧 \(BCDR\) 計画](#)を持っていなかった企業は、長期的なニーズに合わないソリューションを購入してしまった可能性があります。

BCDR 計画を持っている組織でも、準備ができていなかったかも知れません。自然災害やテクノロジー障害への対応を含む BCDR 計画は一般的ですが、飛沫感染するウイルスに対抗するために必要な社会的距離感の規模は、殆どの組織にとって不意打ちだったのです。

2020 年に企業が学んだことは、全従業員がリモートで働くことを計画することが不可欠だということです。多くの企業では、オフィスにいる日もあれば、リモートで仕事をする日もあるというハイブリッドな職場環境に移行しています。

このような新しい働き方に対応するためには、完全に機能するリモートモバイル ワークフォース ソリューションが不可欠です。ハイブリッドワークプレイスでは、個人のスケジュールが異なり、場所や役割などに応じて異なるツールやデータへのアクセスが必要になります。このホワイトペーパーでは、COVID-19 後のビジネス継続性を確保するために、また将来の破壊的なイベントに備えて、コスト効率の高い VDI ソリューションを迅速に導入する方法について説明します。

卓越したユーザー エクスペリエンスの実現

VDI ソリューションは、エンドユーザーが必要なものに安全かつ一貫してアクセスできて初めて効果を発揮します。ログインに時間がかかったり、アプリケーションがフリーズするなどの問題があると、ユーザーは VDI 環境に抵抗を感じます。更に、ユーザーがログイン処理やセッションの凍結解除、アプリケーションの起動を待たなければならない場合、ユーザーが仕事をすることができないダウンタイムが発生します。特に多数のユーザーが遅延や中断の影響を受けている場合は、全体の生産性に影響を与えます。

また、エンドユーザーはそれぞれの役割に応じて異なるニーズを持っています。例えば、パンデミック後、週に 2 回自宅で仕事をする経理担当者の場合を考えてみましょう。担当者のオフィス PC には、すべてのローカル アプリケーション、ドキュメント、内部リソースが保存されています。担当者は ERP アプリケーションにアクセスする必要がありますが、ラップトップではこの種のソフトウェアの要件を満たすことができません。Parallels RAS Remote PC を使うことで、ノート PC から仕事用のデスクトップにリモートアクセスすることができます。

すべてのリモートユーザーがアクセスを必要としているにも関わらず、同じソリューションを使用する必要はないことに留意してください。Parallels RAS は多数のリモートワーク オプションを提供し、エンドユーザー間でアプリケーションの公平性を確保します。必要に応じて完全な VDI をデプロイしたり、他のユーザーにリモート PC を提供したり、ユーザーの能力、ニーズ、作業要件に基づいて特定のアプリケーションをデプロイしたりすることができます。

Parallels では、アプリケーションやデスクトップ以外にも、共有フォルダ、ウェブ アプリケーション、ドキュメント ファイルなどのリソースを公開することができます。すべてのビジネス データとリソースは、どこからでも、どのデバイスからでも簡単にアクセスできます。

VDI で最もよくある問題は、ログオンの遅さと印刷の問題です。Parallels RAS を使用すれば、これらの問題を迅速かつスムーズに解決することができます。ユニバーサル プリンティング テクノロジーにより、ユーザーは追加設定なしでローカル プリンタに直接印刷することができます。Parallels RAS は、ユーザーの習慣を分析する AI ベースのセッション プリローンチ技術を活用しています。これにより、必要な時にすぐ仮想ワークスペースにアクセスできるため、ログオンに時間がかかるという不満が解消されます。

Parallels RAS を使用すれば、エンドユーザーは仕事で使いたいデバイスごとにアプリケーションをダウンロードしたり、設定をカスタマイズしたりする必要がありません。好きな OS とデバイスを使って、オフィスでの作業とリモートでの作業のセットアップを簡単に切り替えることができます。Parallels RAS は、モバイル デバイスに完全なデスクトップ機能を提供します。スワイプ、ドラッグ、ズーム、タップ・ツークリックなどの使い慣れたタッチ ジェスチャーにより、ユーザーは外出先でも生産性を維持することができます。

これにより、不慣れなハードウェアを操作する際に生じるフラストレーションや学習曲線を排除することができます。コピー & ペーストやスワイプによるアプリケーションの切り替えなど、基本的な操作方法を覚え直す必要がないため、生産性にギャップが生じません。

Parallels RAS は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル プラットフォーム上のレガシー アプリケーションや LOB (Line-of-Business) アプリケーションもサポートしています。殆どのモバイル ワークフォース環境では、LOB アプリケーションへのアクセスが深刻な欠陥となっています。これは、レガシー アプリケーションが最新の OS を搭載したデバイスにインストールできないことが多く、エンドユーザーのデバイスが LOB プログラムと部分的または完全に互換性がない場合があるためです。Parallels RAS を使用すれば、どのようなデバイスやプラットフォームを使用しているか、使い慣れたフル機能のデスクトップ アプリケーションに、ネイティブに近いモバイル体験と共にアクセスすることができます。

セキュリティを優先する

リモートワークの導入を急ぐことは、サイバー犯罪者に新たな機会を与えてしまいます。多くの企業の IT 部門は、在宅勤務プランによる事業継続性の実現を重視しているため、十分なセキュリティ プロトコルが欠けていることが多いのです。

リモートワークへの急激な移行で生じた脆弱性をハッカーが悪用したことにより、2020 年 4 月までにサイバー犯罪の報告件数が [400 % も急増](#)した、と FBI は報告しています。この中には、身代金を支払うまでデータやネットワークを人質にするサイバー犯罪者による、企業向けランサムウェア攻撃の急増も含まれていました。

2020 年の第 1 四半期だけでも、数多くの脅威カテゴリーが急増しました。[COVID-19 Threats Report](#) で報告されているように、McAfee Labs は、第 1 四半期に 1 分当たり 375 件の脅威を観測し、公開されたセキュリティ インシデントを 458 件カウントしました。[第 2 四半期には、McAfee Labs](#) は 1 分当たり 419 件の脅威を観測し、前四半期に比べて約 12 % 増加しました。公表されたセキュリティ インシデントの数も、第 1 四半期の 458 件に対し、第 2 四半期は 561 件と増加しています。

VDI ソリューションは、増大するサイバー犯罪の脅威に対応するため、厳格なセキュリティ対策が必要です。多要素認証、暗号化プロトコル、データ分離、クライアント ポリシーなどのセキュリティ機能に注目してください。

Parallels RAS を使用すると、セキュアなデジタル ワークプレイスでは、通常のオペレーションと同じインフラと内蔵のセキュリティを使用してデータとアプリケーションをホスティングすることができます。これにより、リモートユーザーはデータをダウンロードしたり危険にさらしたりすることなく、どのデバイスからでもアプリケーションやデスクトップに接続することができます。また、データはユーザーのデバイスではなく、組織のデータセンターに残ります。

スピードと導入のしやすさを追求

VDI ソリューションの多くは、セットアップや使用が複雑です。多くの場合、VDI ソリューションには多数の独立したコンポーネントが含まれており、それらをすべて設定・接続しなければなりません。複雑な VDI システムの設計と導入には、数週間から数ヶ月かかることもあります。このようなシステムは、IT スタッフの負担を増大させ、他の優先度の高いタスクに費やすことができる時間を奪ってしまいます。また、ソリューションを稼働させるために第三者の専門家を雇うことも一般的で、企業の収益に悪影響を及ぼします。

複雑な VDI 環境では、問題が発生した場合のトラブルシューティングも困難になります。また、問題が社内の IT スタッフの手に負えないほど複雑な場合は、第三者の専門家が 필요한こともあります。VDI ソリューションを稼働させるために第三者の専門家を使わなければならないということは、総所有コスト (TCO) を更に押し上げることになります。

ソリューションが複雑であればあるほど、ビジネス プロセスの正常化には時間がかかります。効果的な VDI ソリューションは、デプロイメント、設定、およびメンテナンスが簡単でなければなりません。Parallels RAS は、ウィザードを使った分かりやすいインストール プロセスにより、数時間でインストールできます。追加のインフラやサードパーティの専門家に投資する必要がないため、TCO を削減できます。Parallels RAS では、オンプレミス、クラウド、またはハイブリッドとしてデプロイできるため、インフラ全体をコントロールして、ニーズに合ったセットアップを構築することができます。

すべてが単一のコンソールで管理されるため、あらゆる規模のデプロイメントが簡単になります。複数の管理コンソールを必要とする他の VDI ソリューションとは異なり、Parallels RAS は管理作業を妨げません。IT 管理者は、1 つの画面ですべてのタスクを実行でき、アプリケーションとデスクトップを数日ではなく数時間で提供できます。

Parallels RAS には、ユーザー体験 (UX) に影響を与える問題を特定するための、ユーザーセッション モニタリング メトリクスがあります。UX エバリュエーターは、ネットワーク レイテンシや、ユーザーのインタラクションからリソースのレスポンスまでの時間などの重要なメトリクスを計算し、エンドユーザーが VDI システムとどのようにインタラクションするかを強化するのに役立ちます。ユーザー セッションの完全な透明性により、管理者はエンドユーザーのインシデント レポートに迅速かつ正確に対応することができます。

このように、UX に積極的に取り組むことで、プロセスの合理化、パフォーマンスの最適化を実現し、あらゆるデバイス、あらゆる場所からアプリケーションやデスクトップへの迅速で信頼性の高い、分かりやすいアクセスを提供します。対象となるエンドポイント デバイスには、以下のようなものがあります。

- HTML5 ブラウザが動作するすべてのデバイス
- Linux ワークステーション
- Android タブレット・スマートフォン
- iPhone と iPad
- Windows PC およびノートパソコン
- Mac のデスクトップとラップトップ

Parallels RAS には、従来のデスクトップ コンソールに加えて、ウェブベースの管理ポータルが搭載されており、外出先でも、タブレットやスマートフォンなどのあらゆるデバイスから作業を行うことができます。これにより、管理作業が一元化され、管理者はアプリケーションの公開、セッション管理、インフラ コンポーネントのデプロイメントと構成などの共通作業を行うことができます。

仮想アプリケーションやデスクトップの配信を効率化するために、Parallels RAS はオート プロビジョニングとオート スケーリングの機能も提供します。管理者は、サーバーの種類や使用状況に応じて、カスタム スクリプトやサードパーティのスクリプトの実行を含む、130 以上の事前定義された設定を適用することができます。タスクの自動化、構成ウィザード、およびカスタマイズ可能なツールによって、IT チームはデプロイメントの管理にかかる時間を短縮し、他のビジネス クリティカルなプロジェクトに集中することができます。

分かりやすい価格設定とライセンス モデル

VDI プロバイダーの中には、特定の機能やサポートをより高価な製品エディションで提供しているところも珍しくありません。Web サイトに掲載されている低価格は魅力的ですが、基本パッケージにはロード バランシング機能などの必須コンポーネントが含まれていない可能性があります。オプション機能の隠れたコストが積み重なると、TCO の増加につながります。安価な価格設定に惑わされず、その価格帯に含まれる機能やサポートについて十分な検討をしてから判断してください。

複数の製品エディションを比較するだけでなく、多くの VDI ソリューションは複雑なライセンス価格を設定しています。VDI ソフトウェアは、サブスクリプションまたは永続ライセンスとして提供されます。価格は、同時接続ユーザー数ごと、または指定ユーザーごとに設定されている場合があり、低価格のライセンス オプションを利用するには、多額の「最低デスクトップ台数」が必要となるプロバイダーもあります。

その結果、小規模な導入を必要とする企業は、追加機能の恩恵を受けることなく、デスクトップ 1 台当たりの価格が高くなってしまいう可能性があります。つまり、企業意思決定者は、VDI ソリューションの潜在的なコストを完全に理解するために、何にどのような費用を支払っているかに細心の注意を払う必要があります。

Parallels RAS では、フル機能を備えた単一のエディションを提供しており、そのライセンスは同時利用ユーザーごとに設定されています。同時ユーザー ライセンスは、ユーザーごとにライセンスを必要とするのではなく、同時に利用されることが予想される数のライセンスのみを支払うことができます。これにより、システムにアクセスする同時ユーザー数が利用可能なライセンス数を超えない限り、ユーザーは Parallels RAS にいくつでも接続することができます。

このライセンス モデルでは、VDI 環境を使用する最大同時ユーザー数は、通常、組織で雇用されているシステム ユーザーの総数の一部に過ぎないため、ソフトウェア コストも低く抑えられます。また、同時接続ユーザーのライセンスは、ユーザー単位のライセンスのように使用状況を細かく監視する必要がないため、IT 管理を簡素化できます。

オールインワン ソリューションである Parallels RAS は、様々な製品エディションやライセンスモデルを評価して、現在および将来のビジネス ニーズに最適なものを決定するという複雑な作業を不要にします。追加のソフトウェア ライセンスを購入することなく、必要な機能がすべて事前に設定されています。シングル ライセンス モデルでは、以下のようなすべての機能にアクセスできます (ただし、これらに限定されません)。

- リモート PC、RDSH、VDI によるアプリケーションとデスクトップの提供
- Azure Virtual Desktop との連携
- HALB (High-availability Load Balancing) について
- モニタリングとレポーティング
- 24 時間 365 日*のカスタマー サポート (*英語でのサポートの場合)
- 柔軟な展開モデル
- データセキュリティの強化
- PowerShell SDK によるタスク自動化
- FSLogix プロファイル コンテナの統合

ライセンス プランとしては最低 15 人の同時接続ユーザーが必要で、1 年、2 年、3 年のサブスクリプションを用意しています。フル機能の製品版価格は、1 年間のサブスクリプションが 12,000 円 / ユーザー、2 年間のサブスクリプションが 23,000 円 / ユーザー、3 年間のサブスクリプションが 34,000 円 / ユーザーとなります (すべて税抜価格)。

更に、[Parallels RAS サービスプロバイダ プログラム](#)では、課金期間中のピーク時の同時使用ユーザー数に応じた、従量制のライセンスモデルを利用することができます。Parallels RAS はシンプルなシングル ライセンス モデルであるため、他の VDI ソリューションよりも TCO が低くなります。企業は、多数の個別のコンポーネントに個別のライセンスを支払う代わりに、他の優先タスクのために費用を節約することができます。

結 論

世界的なコロナウイルスの大流行を受けて、リモートワーク ソリューションの需要は着実に高まっています。Upwork の最近の調査によると、パンデミック以前には 1,940 万人だったアメリカでのリモートワーカーが、2025 年には [3,620 万人になる](#)と予想されています。これは、企業が VDI 環境をサポートするために適切なテクノロジーを用意しなければならないことを意味します。Parallels RAS は、従業員がどこで仕事をしていても、会社のリソースに接続できるようにします。

また Parallels RAS は、分かりやすいライセンス モデルに基づいた、費用対効果が高く、使いやすい VDI ソリューションです。利用可能なすべての機能が搭載されており、高価なアドオンは必要なく、デプロイメントと管理が簡単です。Parallels RAS はユーザー エクスペリエンスを最適化し、従業員が必要なものに必要な時にアクセスできるようにすると共に、シングル コンソールでの管理作業を合理化します。

Parallels RAS のようなソリューションの導入をお考えの場合は、[すべての機能をご利用頂ける無償トライアルを今すぐダウンロードして頂き、その使いやすさを是非、実感してください。](#)

■ 本内容のお問い合わせ先：

コーレル株式会社 ジャパン マーケティング

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-5 NBF 品川タワー 6 階

お問い合わせフォーム: <https://learn.corel.com/jp/volume-licensing/inquiry/>

E-mail : ras-jp@parallels.com

■ 各種ビジネス向け情報を掲載：

[コーレル ディスカバリー センター ジャパン](#)

*ディスカバリー センターには、Parallels RAS や他製品に関する数々のお役立ち情報・資料を掲載しております。是非、ご活用ください。

©2021 Parallels International GmbH. All rights reserved. Parallels および Parallels ロゴは、カナダ、米国および / またはその他の国や地域における、Parallels International GmbH の商標または登録商標です。その他のすべての社名、製品名、サービス名、ロゴ、ブランド、またすべての登録商標または未登録商標は、識別の目的でのみ使用されているものであり、それぞれの所有者の独占的な財産となります。サードパーティに関わるブランド、名称、ロゴ、その他の情報、画像、資料の使用は、それらを推奨することを意味するものではありません。当社は、これらサードパーティに関わる情報、画像、素材、マーク、および他社の名称について所有権を主張するものではありません。特許に関するすべての通知と情報については、<https://www.parallels.com/jp/about/legal/> をご覧ください。